



社名の由来である
“若きウェルテルの悩み”のヒロイン
「シャルロッテ」

株式会社ロッテ
2018年12月12日(水)

川村元気 × 松本理恵 × BUMP OF CHICKENのタッグによる ロッテ創業70周年記念スペシャルアニメーション 『ベビーアイラブユーだぜ』

12月12日(水)4時スペシャルサイトで公開！！

株式会社ロッテ(代表取締役社長 牛嶋 栄一)は、創業70周年を記念して制作したスペシャルアニメーション「ベビーアイラブユーだぜ」を、本日2018年12月12日(水)4:00にスペシャルサイトで公開しました。

企画・プロデュース: 川村元気、監督: 松本理恵が務め、楽曲は「BUMP OF CHICKEN」による書き下ろしの新曲「新世界」。フルバージョンは、約3分45秒にもおよぶものとなっています。

動画内にはさまざまなロッテのお菓子が擬人化されて登場します。それぞれのキャラクターが、どのブランドなのか想像しながら、スペシャルアニメーションをご覧ください。

ロッテは「お口の恋人」として、これまでもこれからも、お客様のそばに寄り添い続けていきます。

●スペシャルサイト【URL】<https://www.lotte.co.jp/entertainment/70th/>



■この件に関するお問い合わせ先

株式会社ロッテ

TEL:0120-302-300(フリーダイヤル)



社名の由来である
“若きウェルテルの悩み”のヒロイン
「シャルロット」

ロッテ創業70周年記念スペシャルアニメーション 「ベイビーアイラブユーだぜ」概要

これは近い未来のお話。

少年と少女がロッテのお店で偶然出会い、二人の行方を擬人化されたさまざまなお菓子やアイスが見守っていく。二人はいったいどうなるのか。ぜひ動画をご覧ください。

公開開始日：2018年12月12日（水）

動画URL：<https://youtu.be/etKuJ7ibrvc>



■「ベイビーアイラブユーだぜ」キャラクター紹介



主人公たち：ロッテのお店で出会う少年と少女



クーリッシュの精



ガーナの精

擬人化されたブランドたちは、合計で17種類登場します。



社名の由来である
“若きウェルテルの悩み”のヒロイン
「シャルロッテ」

■プロフィール

【楽曲】

BUMP OF CHICKEN

藤原基央、増川弘明、直井由文、升秀夫の幼馴染み4人によるバンド。1996年2月に現編成で初ステージを踏む。2000年シングル「ダイヤモンド」でメジャーデビュー。2002年のメジャー1stアルバム「jupiter」はオリコン初登場1位を獲得、累計出荷枚数が90万枚を越える大ヒットに。2006年にはロッテ「エアーズ」CMソングとしてシングル「涙のふるさと」を提供。バンドにとって初のCMタイアップとなった。2017年9月から2018年3月にかけて全29公演のアリーナツアー「BUMP OF CHICKEN TOUR 2017-2018 PATHFINDER」を行い、30万人超を動員する大成功を収めた。メジャーデビュー一丸18年を超えても若者を中心に男女問わず幅広い年齢層から支持を集める稀有なバンドである。



■BUMP OF CHICKENコメント

・レコーディングの時のエピソード

今回のレコーディングでは、楽器だけではなく紙鉄砲や靴の音などをサンプリングしてリズムトラックを作ったりして、とても楽しかったです。松本監督との久しぶりのコラボレーションだったので、どんな映像になるのかワクワクしながら制作しました。

・完成した映像を観た感想

お馴染みのいろんなお菓子を擬人化したキャラクターたちが、僕たちの音楽に合わせて歌ったり、踊ったりする姿がとても嬉しかったです。二人の物語の続きも気になります。最高でした！

【企画・プロデュース】

川村元気

1979年生まれ。『告白』『おおかみこどもの雨と雪』『君の名は。』などの映画を製作。12年、初小説『世界から猫が消えたなら』を発表。140万部突破のベストセラーとなり、米国、フランス、ドイツ、中国、韓国などで出版される。同年、小説2作目『億男』を発表。76万部を超えるベストセラーとなり、佐藤健、高橋一生出演で映画化された。16年、小説3作目『四月になれば彼女は』を発表する。18年、カンヌ国際映画祭短編コンペティション部門に初監督映画『DUALITY』が選出される。

【監督】

松本理恵

1985年生まれ、アニメーション監督。2010年、25歳にして劇場版「ハートキャッチプリキュア！ 花の都でファッションショー...ですか!?」で監督を務め、高い評価を得る。2013年アニメ「京騒戯画」の監督を担当。2015年テレビアニメシリーズ「血界戦線」の監督を手掛け、国内外で大ヒットを記録。今最も次回作が期待される才能。

【キャラクターデザイン】

林祐己

1984年生まれ。東映アニメーション研究所を経て、東映アニメーションへ入社。ドラゴンボール・ワンピース・プリキュア等の作画監督、原画を務める。2011年「京騒戯画」を松本理恵監督と一緒に手掛け話題となる。最新作としては「僕のヒーローアカデミア」シリーズのOP原画・作画監督などを務め、今後が期待されている。

【アニメーション制作】

ボンズ

1998年に設立。「鋼の錬金術師」「交響詩篇エウレカセブン」「血界戦線」「僕のヒーローアカデミア」など、数多くの大ヒットアニメーションを制作。海外からも高い評価を得るアニメーションスタジオが、今作では大ヒット作「血界戦線」以来再び松本理恵監督とタッグを組む。